

# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名	
	未治療のCD30陽性 末梢性T細胞リンパ腫	A-CHP	
投与予定	休薬を含めて1クール	21日	6～8クール施行

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)								
							1								
1	グラニセトロンバッグ プレドニゾロン	3mg/100ml 100mg	/		点滴静注	30分	↓								
2	生食 ドキシソルピシン	100ml 50 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	5分	↓								
3	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓								
4	★プライミングフラッシュ生食必要★														
	生食 シクロホスファミド	500ml 750 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	120分	↓								
5	生食 ブレンツキシマブ ベドチン 溶解用蒸留水	100ml 1.8 mg/kg	#REF! mg/body	mg/body 実際の投与量 ml	点滴静注	30分	↓								
6	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓								

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
2	ドキシソルピシン		[総投与量]500mg/m <sup>2</sup> を超えないこと。
5	ブレンツキシマブベドチン		1vを注射用水10.5mlで溶解する。(5mg/mlとなる) 最終濃度が0.4~1.2mg/mlとなるように生食または5%ブドウ糖液で希釈する。

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
プレドニゾロン	100mg	分1朝食後又は 分2朝昼食後	day2~5

備考	
----	--

ブレンツキシマブベドチンは体重が100kgを超える場合は、100kgとして計算する。末梢神経障害のgradeに応じて減量・休薬・中止の規定あり。

day1のプレドニゾロンは内服へ変更の場合あり。

ステロイドの用量・投与期間は、患者の状態で変更する場合あり。